

総人口に占める高齢者人口の割合は 28.1%、男女別に見ると、男性は 25.1%、女性は 31.0%となっており、男性は4人に1人が高齢者になっている。超高齢社会に突入している我が国においては、2006(平成18)年には介護保険制度が「介護予防」を重視する制度へと改正された。そのなかに「口腔機能の向上」を実現するために「口腔ケア」処置が導入され、補綴処置が長期間にわたり切ろうできる施策が現在実施されている。健康寿命の実現に欠かせない「栄養摂取」が、自らの補綴装置を使用しながら、口腔を通して生涯続けられるように、本講演で述べてみたい。